

静岡の政治 日本の政治（比較研究）

まえ やま りょうきち

国際関係学科

前山 亮吉

●連絡先

TEL：054-264-5265

キーワード

静岡, 日本, 政治構造, 地方政治, 比較, 選挙, 投票行動, 政治史



静岡県の政治は日本政治の縮図といわれて久しい。しかしそんな静岡県の政治にも大きな構造変動の予兆が見られる。こうした予兆の持つ意味を考察することが本研究のアピールポイントである。

目的・概要は2008年7月刊行の拙著『静岡の政治 日本の政治』（静岡新聞社、静新新書25）の「はじめに」に記したとおりである。比較（国際・国内）と政治史（過去との比較）という方法を駆使して、静岡県の政治の構造変動を分析している。「保守王国」とのみ言われることの多い静岡政治の新たな顔を発見する事をめざす。

研究途上であるがいくつかの発見を箇条書きで記すと次のようになる。

- ・市町村合併の結果、旧郡部を統合して出来た県内新市における投票行動には都市型への変化が見られる。
- ・上記変化は政令市である浜松市で特に顕著であり、北・西・天竜区では従来見られなかった投票行動が05衆院選・07参院選で観察できた。
- ・戦後の静岡県知事は約20年～26年という長いサイクルで官僚と政治家との間を往復しているように考えられた。しかし、官僚でも政治家でもない学者・川勝知事の登場は、画期的な事態である。